

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 3 日

事務事業名: 食と農のチャレンジ事業. 事業区分: 新規/継続, 単独/補助, 補助. 事務事業No: 050104000853. 所属課: 農林課. 政策体系: 総合計画の施策名 0501 農業の振興. 財務会計上の位置付け: 一般会計 農業経営支援事業. 事業期間: 単年度繰返し (年度~).

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要. ①事務事業の概要 (事務事業の全体像): 農業者や農業関係者が主体となつて行う安心安全で、高品質な農産物の供給やエコ農業の展開名での取り組みを通して、農業分野以外の方々の意見も積極的に取り入れながら、新たな取り組みにチャレンジしようとする生産現場からの企画の支援を行う。 ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順: 農業者、農業団体等へ事業要望周知、事業要望希望取りまとめ、事業実施主体企画書提出。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 main rows: ①手段 (担当者活動内容), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ④活動指標 (活動量を表す指標), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Columns include units and years 27-31.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input costs (事業費) from 27 to 31 years. Includes categories like 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 述べ業務時間, 人件費計(B), and トータルコスト(A)+(B).

事業費の内訳

Table showing the breakdown of business costs (事業費の内訳) for 28 and 29 years. 28年度事業費実績 (千円) and 29年度事業費 予算 (千円). Total for 29 years is 1,500.

(4) 当該年度の実施内容

Table showing implementation content (実施内容) for 29, 30, and 31 years. 29年度: 農畜産物の高品質化, エコ農業や食育, 農林水産加工, 販路拡大. 30年度: 農畜産物の高品質化, エコ農業や食育, 農林水産加工, 販路拡大. 31年度: 農畜産物の高品質化, エコ農業や食育, 農林水産加工, 販路拡大.

| | | | | | |
|-------|-------------|---------|-------------|-----|-----|
| 事務事業名 | 食と農のチャレンジ事業 | 事務事業No. | 50104000853 | 所属課 | 農林課 |
|-------|-------------|---------|-------------|-----|-----|

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

- ・農産物価格低迷及び経営コストの上昇による経営環境の悪化や、少子高齢化などの諸問題に対応し、安心安全で高品質な農産物の供給やエコ農業の展開などの取り組みを通して、農業分野以外の方々の意見も取り入れながら、新たな取り組みにチャレンジしようとする生産現場からの企画の支援を目的に県の補助事業により展開された。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・要望締め切り期間が短すぎる。
- ・事業採択基準が厳しい。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

- ・生産者の高齢化により、現在の農業経営から新たな農業経営へ転換をすることは容易ではないが、農業分野以外の方からの意見を取り入れ、工夫を凝らした企画の支援をしていくことが必要である。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

| | | | |
|-----------|--|--|-------------------------------------|
| 目的 妥当性 | ①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) | <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている | ・地域の活性化、農業生産組織の経営向上につながる。 |
| | ②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) | <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である | ・地域の活性化、農業生産組織の経営向上につながるため、妥当である。 |
| 有効性 | ③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) | <input type="checkbox"/> 向上余地がない | ・県の補助要綱に基づき実施している。 |
| | ④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) | <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 | ・地域の活性化、市全体の活性化が図れず、農業生産組織の経営が向上する。 |
| | ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 | <input type="checkbox"/> 余地がない | ・類似事業はない。 |
| 効率性 | ⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) | <input type="checkbox"/> 削減余地がない | ・必要最低限で実施している。 |
| 公平性 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) | <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である | ・該当組織に周知し、要望者を募集している。 |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

| | |
|--|--|
| (1) 1次評価者としての評価結果 | (2) 全体総括(振り返り、反省点) |
| ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | ・平成28年度は、事業要望団体がなかったため、次年度は多くの団体に事業に参加するよう呼びかけを行う。 |

| | |
|---|---|
| (3) 今後の事業の方向性 | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) |
| <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 | (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|-----|----|-----|--|--|--|--|----|----|----|----|----|--|---|---|----|--|--|---|--|----|--|--|---|
| (5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 | <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table> | | | コスト | | | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 | | ○ | × | 維持 | | | × | | 低下 | | | × |
| | | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上 | | ○ | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | | | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低下 | | | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| |
|-----------------|
| (6) 事務事業優先度評価結果 |
| 成果優先度評価結果 |
| コスト削減優先度評価結果 |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|---|---|
| (1) 課長評価 | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) |
| 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出 | 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認 |